

## 令和2年度 呉市総合計画審議会第2回会議 摘録

1 日 時 令和2年7月14日（火）18時30分～20時50分

2 場 所 呉市庁舎7階 752～754会議室

### 3 概要・骨子

#### 【新原市長】

皆さんこんばんは、呉市長の新原でございます。

委員の皆様には、審議会委員を快くお引き受けくださり、本当にありがとうございます。また、貴重な時間を割いてご出席いただき、ありがとうございます。

第1回目の会議は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、書面開催となりましたので、今回初めて皆様が顔を合わせていただく会議となっております。

呉市の現状は、平成30年7月豪雨や日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区の高炉休止発表、新型コロナウイルス感染症の流行拡大など、大きな困難に遭遇しており、大変厳しい状況にあります。苦しい状況を跳ね返して素晴らしい呉市にしていかなければなりません。

呉市の歴史を思い返してみますと、戦前は世界最高の技術が集積し、世界最先端の技術のまちでした。ものづくりだけではなく、生産工程、工業規格など、ソフト面についても日本中に貢献したまちです。

今の日本は、東京一極集中でそれ以外の地域は元気がない状況です。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、呉市のような中規模の都市が、世界の中でも輝いている都市を目指していかないといけないと思います。

モデル都市を目指していく素晴らしい都市となりますように、いろいろな技術が発展してスマートシティやデータを用いた Society5.0 など、新しい技術が出てきています。呉駅周辺の開発を基点として、そういった先端技術を取り込み、呉市が世界に向けて開かれた大変素晴らしい都市になっていきますように、これから10年間の基本的な計画を皆さんにご検討いただきますが、呉市のために一生懸命考えていただける最高のメンバーが集まったと自信を持って、誇りに思います。

思い切りご意見を戦わしていただき、素晴らしい計画ができますように、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

#### 【赤川会長】

会長の赤川と申します。よろしくお願いをいたします。広島大学歯学部で歯科医師の養成をしております。専門は歯科補綴学と言いまして、歯がなくなったときにブリッジを作ったり歯をかぶせたり義歯を作ったり、最近ではインプラントを埋め込んで歯を作るなど、そういった分野の研究、臨床、そして学生教育をして参りました。広島大学の後は、福島県郡山の奥羽大学で学長をしておりました。

非常に経験の少ない自分ですが、先ほど市長がおっしゃったような新しい呉市の10年をつくる計画の基本構想についてぜひご支援をよろしくお願いをいたします。

#### 【向井副会長】

向井でございます。地元の金融機関で40年、地域の経済を中心に地域の息遣い、息吹を肌で感じて参りました。これから10年後の呉がどうなるか、真剣に考えて未来の世代へバトンタッチをしっかりとしていきたいと思っております。

微力ではございますが、皆様のご協力をいただきながら頑張ってお参りますので、どうぞ協力のほどよろしくお願いをいたします。

**【諮問】**

**【新原市長】**

第5次呉市長期総合計画基本構想について諮問。

第5次呉市長期総合計画基本構想について（諮問書読み上げ）。

**【資料説明】**

- ・資料1 第1回会議資料「呉市を取り巻く環境について」に関する説明。
- ・資料2 呉市長期総合計画（第2編 基本構想まで）たたき台に関する説明。

**【意見交換】**

資料2 呉市長期総合計画（第2編 基本構想まで）たたき台 について

※委員の主な意見・提案を、次のとおり分類して記載

- |               |            |
|---------------|------------|
| (1) 将来都市像     | (6) 産業分野   |
| (2) 子育て・教育分野  | (7) 都市基盤分野 |
| (3) 福祉保健分野    | (8) 環境分野   |
| (4) 市民生活・防災分野 | (9) 行政経営分野 |
| (5) 文化・スポーツ分野 | (10) その他   |

**委員からの主な意見・提案は次のとおり**

(1) 将来都市像について

**【笛吹委員】**

- ・将来像がざっくりとしている。

**【梅木委員】**

- ・呉市の都市像については、よく分かるように書かれている。

**【折橋委員】**

- ・将来都市像の冒頭に小見出しがあると、呉市についての特色が示せて、グッと読み進めようという気持ちになる。

**【神田委員】**

- ・呉駅前再開発が行われれば、人と人とが交流するチャンスが生まれ、何らかのクリエイティブスパークが起きそうな気がする。そのあたりのメッセージの一部を表現する言葉として、イノベーションという言葉がどこかに欲しい。

**【小林委員】**

- ・呉市の都市像が抽象的なので、令和2年を表すような呉市が抱えている問題も文章の中に入れておくべき。お金を外から持ってくる施策、商業的にはお金をまちの中で回す施策、こういったことで市民が豊かになって、その先にまちづくりがあり、今の危機感を持ったこのまちの状態を、基本構想の中にあえて加える必要がある。
- ・中小企業が持つ技術を、もっと全国にアピールできる、市民がその存在を認めて後押しするような形を夢として描いてもらいたい。

(2) 子育て・教育分野について

**【小倉委員】**

- ・多くの女性が、夫の転勤などを理由にワンオペで子育てしないといけない

め、職を離れてしまう。女性がメインで子育てをする状況を変えることが必要。

女性の能力を社会で生かすことができないのはもったいないし、女性の収入が少ないことは、離婚後の一人親家庭の貧困にもつながる。市役所だけでなく、商工会議所などと協力することで、少しずつ変えていけると考える。

**【小谷委員】**

- ・若い世代が、子育てをしている時代はもとより、そのままずっとこの地に根づいて住んでくれるには、きめ細やかな教育がすごく大事

**(3) 福祉保健分野について**

**【松本委員】**

- ・スマート化が何度も出てきますが、高齢者にとってもわからないことを安心してサポートしてもらえる、また、サポートしてあげられる仕組みが必要。高齢者の方の力にも期待

**【渡辺委員】**

- ・高齢化の評価という点で、高齢化は人類が求めてきた長寿の実現であり、素晴らしい成果として位置付けて欲しい。

**(4) 市民生活・防災分野について**

**【伊藤委員】**

- ・安心・安全・快適に暮らすための地域社会をつくっていくパートナーとして、外国人住民のことが取り上げられており、総合計画の中でしっかり位置付けてもらえた、同じ町でともに暮らす仲間として受け入れてもらえたと思える。
- ・外国人住民からは、日本人と話したい、友達を作りたい、楽しく、いろんな経験をしたい、ボランティアなどをして地域の人と一緒に何かをしたいといった声がたくさんある。

**【小倉委員】**

- ・市民と行政の関係は、今までは市民が行政に注文してやってもらうという関係性が強かったと思うが、今の10代、20代の方は、自分が役に立ちたいという思いを持っている人が多く、市民と一緒にまちをつくっていくということ、10年かけてそのマインドを市民も市役所も一緒に変えていくことがすごく重要なこと。
- ・留学生や技術実習生の子どもが増えてきた場合、教育をどうするのか、例えばムスリムの方が増えた場合、お祈りをする場所、その食事をどうするのか、そういうことも10年先を見据えるという意味では考えていく必要がある。
- ・外国人の乳幼児への対応が急務。日本語が得意ではない外国人保護者と日本人保育士が日本語でやり取りしており、アレルギー情報など正確に伝わらなければ子どもの命を危険にさらすことになる。保育園はその責任を全て引き受けざるを得ない状況になっており、早急に対処しなければならない。
- ・呉市ホームページにやさしい日本語が追加されていて、素晴らしいことだと思うが、防災情報が間違っていた場合は命に関わるので、正確性が担保されない自動翻訳ではなく、事前に準備しておいて正確な情報を提供しなければならない。
- ・子連れの方が、避難所に行きやすいよう、外国人の方が一緒に避難できるように、普段からそういった環境を整えることが大事

- ・外国人の乳幼児への対応が急務。日本語が得意ではない外国人保護者と日本人保育士が日本語でやり取りしており、アレルギー情報など正確に伝わらなければ子どもの命を危険にさらすことになる。保育園はその責任を全て引き受けざるを得ない状況になっており、早急に対処しなければならない。

#### 【海堀委員】

- ・5ページの【図表 1-3 国の人口の推移と長期的な見通し（全国）】について、昭和20年からグラフが始まっているが、【図表 1-4】などにおいてもそれ以前に人口が急増したということがわかるように記載すると、呉市の事情をよく理解できる。
- ・平成30年の西日本豪雨だけではなく、昭和20年9月枕崎台風の実情・背景、法律が作られるまでになった昭和42年7月豪雨災害、平成11年6.29豪雨災害など、事実を知ってもらった上で、安全・安心なまちづくりを書くことが、すごく意味を持ってくる。

#### 【神田委員】

- ・呉市は災害に対して弱いイメージがあるので、災害に絶対に負けないぐらいまで書くぐらいの意思表示をしても良い。

#### 【小林委員】（会議終了後、文書で提出された追加意見を含む）

- ・大き過ぎないまちの特徴を活かして、ソフト面では、「和を尊ぶ社会」ニアシテイを目指すべき
- ・豊かさというのは人それぞれ感じ方が違うが、豊かに暮らしていないと、人に対して何もしてあげられない。
- ・地域の人々の人間関係が良好であれば、他の都市から来られた方にとっても良いまちに見えるので、我々自身が豊かで心に余裕が持てるような状態になっていなければいけない。
- ・企業・周辺自治会・周辺住民が一体となって、防災・防疫等々の問題点を共有化し、対策を分担する、どこよりも安心して暮らせるまち作りを目指すべきだと思う。

#### 【田中委員】

- ・呉市役所にできることには限りがあるので、市民が呉市のまちづくりをどう考えるのか、そこにどう参加していくのかというところが重要

#### 【渡辺委員】

- ・将来都市像の五か条の前に書かれている「私たちは、一人ひとりが主役となって変化する社会にという」、この部分は非常に大事、市民が参画するとき、市民がまちづくりの主体として参画するための支援を盛り込んでいくべき。

### （5）文化・スポーツ分野について

#### 【武田委員】

- ・スポーツの持つワクワクというのは強化であり、強いチームが自分のまちにあれば応援するために、週末に出かけるなど生活に潤いを与えてくれる
- ・島しょ部を活かしたスポーツなど、そういう種目を選択してまちを挙げて活性化していくことを考えてみてはどうか。
- ・大学をうまく利用すればスポーツ指導者の養成にも関わっていける。

### （6）産業分野について

#### 【岩崎委員】

- ・日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区の高炉休止で変化する産業構造の中で、就業・雇用を確保し、新しい産業を興して雇用を生み出していくことの具体的なイメージが必要

#### 【笛吹委員】

- ・インバウンドだけではなく、国内観光などいろいろなタイプの観光客を呼び込むことが今後必要になってくる。

#### 【梅木委員】

- ・観光を産業にするために、それを市民に伝え、市民と一緒にやっていくのであれば、何を考えているのかを将来都市像の解説の中に書くのが1つの手だと考える。
- ・観光分野において、リピートをしている状態など、観光に来た人が市民のもてなしを感じるということがキーだと考える。事業レベルで良いので検討してほしい。

#### 【小倉委員】

- ・呉にはたくさんの島しょ部があり、とても豊かな資源があるのに活かせていない。
- ・農林水産業に若い人が参入するために、つないでいくことはすごく重要

#### 【亀山委員】

- ・日本製鉄瀬戸内製鉄所呉地区の高炉休止、新型コロナウイルス感染症の流行による流れの中で、新しい産業の育成や若者・女性の活躍によって、まちの元気を取り戻し、市民や企業にとって夢が持てるような計画をする必要がある。誰もがチャレンジできるという観点は大事
- ・地域経済の持続的な発展を目指すために、やはり事業承継や創業支援についての総合的な取組が必要。これについては、地域の強みである、特色ある産業資源を活かした新商品の開発や販路開拓の取組が不可欠（オールクレ・クレコレバイヤーズ商談会など）
- ・観光振興が呉市の産業構造の中で、一次産業も含めた既存の各産業に対してどのような影響をもたらすことができるかについて、具体的な分析や効果について十分検討し、市全体として事業者だけではなく、市民にわかりやすい形で計画の中に盛り込んでいく必要がある。

#### 【小谷委員】

- ・何回も訪れてもらわないと、なかなか観光にはつながっていかない。島しょ部はとても良いところなので、その農業など様々な産業分野で体験型の観光ができるようにして、何度も訪れてみたいというまちにしていくことが大切である。

#### 【小林委員】

- ・呉市が将来にわたり、持続的に成長・発展し続けるためには、中小企業・小規模企業の活力向上が不可欠であり、中小企業・小規模企業が育ち、飛躍することができる環境を、地域社会全体で連携及び協力して整備することが重要
- ・中小企業・小規模企業群をまちの財産と捉え、社会全体で支えていく必要がある。

#### 【高田委員】（欠席のため、事前に意見の提出があり、事務局が代読）

- ・呉在籍の大企業・中小企業等は益々厳しい状況が予想され、呉地区における雇用の確保は緊急の課題である。
- ・呉市役所は新規大卒の採用を増やし、呉市出身者が帰ってきやすい状況を作

り、他の企業へも地元出身者の雇用促進をアピールして欲しい。

- ・長期的な視点に立ち、今後どのように雇用の創出・確保を行っていくのか、雇用確保が難しいなら、通勤の利便性やまちの魅力などを今以上に向上し就労者の定住を促進していくか、真剣に考えていかななくてはならない。

**【西川委員】（欠席のため、事前に意見の提出があり、事務局が代読）**

- ・女性の起業については、とてもハードルが高く、起業支援だけではなく起業する人をみんなで応援するという意識の醸成も必要
- ・産業分野だけではなく教育分野においても、夢の実現（起業・創業）にチャレンジすることのすばらしさや厳しさについて、教える必要がある。

**【松本委員】**

- ・高齢化で後継者問題は深刻となっている。

**（7）都市基盤分野について**

**【岩崎委員】**

- ・新型コロナウイルス感染症の流行拡大により呉市くらいの都市の求心力というのは、むしろ高まる可能性がある。
- ・生活インフラが整った地方の都市に住んで、そこから東京とリモートで良い仕事ができるといったことをアピールすべき。
- ・分析や今後の展開において、コンパクト・プラス・ネットワークを基本とする都市構造の概念図があるが、これに呉市の地図をかぶせた場合、島しょ部はどうなるのか。

**【小倉委員】**

- ・都市を維持するにはかなりお金がかかる状況、市職員も減っている状況で、全ての地域ですべてのサービスを提供するには、市職員だけではすごく難しいのではないか。そのような状況を勘案すると、コンパクトシティを目指すしかない。
- ・若者はいろんな体験をしたいと考えており、流出させないというのは難しいが、また帰りたくなるまち、都会育ちの人が移住したくなるまちという点を考慮する必要がある。

**【郡山委員】**

- ・東京都内と比べると、呉市中心部も島しょ部も不便であり、あまり変わらない。どうせ不便なら、もっと自然を楽しむような、不便は不便で割り切った方が良い。
- ・大都市で育った人間からすると、安芸灘など島しょ部の方がよほど魅力的に見える。
- ・光ファイバーを呉市内全域に敷く、長距離の交通網を整備する、また安芸灘大橋を無料にする、全ての行政手続を家からオンラインでできるようにする、医療も全てオンライン遠隔医療で行うといったドラスティックな考え方を導入しても良い。
- ・土地利用に関して、もっと島しょ部などを活用し、中途半端に都市化を目指すよりも、医療や教育などの問題もICTを使い根本的に解決できるものがあると思う。
- ・呉市内はそんなに便利ではないと認識すべきで、コンパクト・プラス・ネットワークは、本当に呉市の目指すべき姿なのか疑問である。
- ・コンパクト・プラス・ネットワークにした時に拠点間を結ぶのはいいが、拠点

に行くのも辛い人たちがたくさんいる。その辺の整備も、例えば、乗り合いであつたり、自動運転であつたり、別の交通手段も考える必要があるのではないか。

**【小谷委員】**

- ・リモートやテレワークが進んでいるので、周辺機器の設備を整えて、大都会から移住者を呼び込むことは大事

**【田中委員】**

- ・アーバンデザインセンターが、いろいろ呉市に対して思いを持っている方々のプラットフォームになり、市役所、大学、呉市民が議論する場になると良い。

**【渡辺委員】**

- ・実習等で学生と島しょ部に出かけるが、安芸灘大橋の通行料金一つとっても高い。実習等を通じて地域の人とつながりができた学生は、自分で100枚券を購入して通っていたが、このような取組への支援についても考えて欲しい。

**【信友委員】（欠席のため、事前に意見の提出があり、事務局が代読）**

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、テレワークが進み、過密都市から地方への移住が進む。呉市で暮らしたいと思ってもらえるよう、他の市町村との差別化、呉ならではのメリットの打ち出し、テレワークができる環境を整備し、一歩先んじることが必要
- ・呉の良さについて、都会を離れようとする人には魅力的、民家リノベーション、シェアハウス、広島呉道路の通行料の値下げまたは無料化、日本製鉄瀬戸内製鉄所呉地区の高炉休止後に工場をテーマにした施設ができれば、夜のツアーで人気が出るかもしれない。

**(8) 環境分野について**

**【小倉委員】（会議終了後、文書で提出された追加意見）**

- ・環境という言葉は範囲が広くどこまで基本構想に記載するか難しいが、次の視点を入れることで何を政策として重視するのかが分かりやすくなる。
  - ①農業や農村の有する多面的機能
  - ②希少な生物の生息地
  - ③環境学習
  - ④地球温暖化

**【海堀委員】**

- ・豊かな環境とは一体何なのか、例えば農業や島しょ部のことなど、しっかり具体的に幾つか挙げられることがすごく大事

**【田中委員】**

- ・地球温暖化、気候変動はなかなか止められないというのが多くの認識だと思うので、それに適応するという部分も、環境分野の中で記載されると良い。

**(9) 行政経営分野について**

**【岩崎委員】**

- ・平成の大合併の検証が不十分
- ・合併された側の町の住民の立場に立った施策展開が、この文章の中でも明記されるべき。

**【小倉委員】**

- ・職員も減り、財源も減っていく中で、市職員がこれまで実施してきたことに

ラスアルファして実施するのは難しい。

**【折橋委員】**

- ・市の職員定数の閾値をなるべく早く提案し，効率的な市政に備えていくためにも，行政が提供できるサービスを見直しながら行政サービスの拡充に舵を切るべきである。
- ・地方分権の中で地方に活かされる仕事というのは非常に多くなっていると強く感じる。自治体間，行政機関間の連携を強化していくことが必要

(10) その他

**【伊藤委員】**

- ・外国人住民は，再来日した時に他市町に住むことを選ぶ人が多い。呉のまちに住み続けたい，一度離れてもまた戻って来たいと思えるようなまちになるよう事業を展開して欲しい。

**【岩崎委員】**

- ・総合計画が全体的にインパクト不足，エッジの効いた表現や施策が盛り込まれるべき。
- ・新型コロナウイルス感染症対策に徹して医療体制を充実させ，コロナ対策を逆手にとって呉市をアピールする視点が必要
- ・先が見えない状況の中で，想定どおり今年度中にこの計画の成文をあげるべきなのか疑問

**【笛吹委員】**

- ・第1編では，呉市の課題を重視されて書かれているが，その課題が弱点やマイナス部分をプラスに変えるような視点，弱みを強みに見せるような，計画や都市像になれば良い。

**【梅木委員】**

- ・基本構想ではあるが，これという部分は，基本構想でも具体的に書けば伝わりやすくなる。
- ・構想を作ったということをイメージ動画などを利用して，市民全体で共有することが大事

**【小倉委員】**

- ・基本構想には，明るい展望が書かれている印象を受けた。
- ・地域別データは，市民が当事者意識を持って呉市のことを考えていくためにすごく重要

**【折橋委員】**

- ・インパクトが若干薄いという印象，政策分野が8分野は多く感じる。

**【海堀委員】**

- ・第4章には新たな問題ということで項目を追加し，課題などを書いた方が良い。

**【神田委員】**

- ・総合計画は，一種のシティセールスのカタログである。色んな企業の方に投資してくださいというメッセージも発したいと考えるが，33 ページの都市像を見たときに，企業の方々へのメッセージが弱いと感じた。
- ・呉市の強みや弱み，あるいはチャンスや脅威をしっかりと分析し，広島県全体での呉市のポジションを整理した上で，呉市の強みをどんどん強くしていくとい

うメッセージを、もっとエッジを効かせて出しても良い。

- ・今の状態だと、1,700ぐらいある市町村のよくある計画になりかねない。

#### 【郡山委員】

- ・目指すべき姿は、どの都市も当たり前を目指すべき姿であって、イキイキ・ワクワク、呉の3点が感じられず、非常に凡庸で呉という特徴がどこにも出てない。

#### 【小谷委員】

- ・外出しやすい交通網や近くで買い物ができる商店街、それからみんなが集まれる憩いの場をつくるなど、高齢者の特性を生かしたシステムをつくるのが大事

#### 【小林委員】

- ・ワクワクと暮らすというのが今ひとつぴんときない。豊かに暮らすではないか。
- ・高齢化社会が進んでいく中で、子どもを育てていくには、やはり二世帯、三世帯、四世帯が暮らせるような、この時代を逆手にとって、呉市中心部と比べて焼山などの周辺地域は、建ぺい率や容積率が低く二世帯住宅が建てにくいと聞いており、二世帯住宅を建てやすくするなど、そういったまちづくりを考えていくのはどうだろうか。
- ・呉市民一人ひとりが参加し、将来の呉を作り上げていく羅針盤であるという、メッセージ性のある文章が必要

#### 【下野委員】

- ・市民が言うのは、若者の少なさに対する危機感であり、まちを元気することについて、若者がすごく大事  
例えば、中央地区に大学などの教育機関ができれば、まち全てが一気に元気になり、10年後には人口増加につながって市民がワクワクとかイキイキとか、夢が見られるまちになる。
- ・日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区の高炉休止後に、例えばグーグルなどが呉市に来てくれるとか、それぐらい何か僕たち市民が、ワクワク・イキイキと夢が見られるまちとはそういうものではないか。

#### 【田中委員】

- ・具体的な部分は、基本計画を見てくださいということだと思いますが、読み物として総合計画を見た時に、そこにダイジェスト的にでもどういうイキイキ・ワクワクという要素があるのか示した方が良い。
- ・各分野が融合し、一緒に考えることによって、1+1が2以上のものになる側面がまちづくりにはたくさんある。

#### 【渡辺委員】

- ・経済成長は非常に大事だが、それを強調して目標として掲げていくのか、もう少し経済成長以外の視点をしっかり捉えていくのかというのが気になる。
- ・本当に市民一人ひとりが主役になれるような都市というのを、どのように目指していくのかということが、2章の目指すべき姿にどう書かれていくか非常に興味がある。

#### 【向井委員】

- ・基本構想を読んで、誰がやるのかというところが少し足りない。呉市民22万人がやっていかなければいけないという宣伝的なものが必要
- ・全体的に、呉市民が自主的にやっていくのだという意識が欲しい。

- ・全体的にしっかりと見える化していく必要がある。例えばSDGsなどは、基本計画に反映し見える化していくことが必要だと考える。

#### 【森本委員】

- ・人口動向に注視し、これを食い止める、遅らせる方法を考えていかななくてはならない。
- ・人口減少に歯止めをかけることによって、税収の確保も容易になり、呉市民に還元をしていく循環型、そういうサイクルをつくっていかなくてはならない。
- ・勤め先の確保や産業団地をつくって工場を誘致しながら、健康で安心して暮らせる、そして子育てがしやすいまちを目指していかなくてはならない。どうすれば若者が、呉市に定住できるかというのが原点
- ・市民は便利になることなどが、肌で感じないと、いくら立派な計画を立てても納得しないので、やり遂げられる基本計画を立て、責任を持ってやり抜くというをお願いしたい。

#### 【市長閉会挨拶】

大変素晴らしいメンバーを委員に選ばせていただいて本当に良かったと思います。

今日かなり厳しいといいますか、もっと問題点をはっきり書くべきという意見をいただきましたし、それから、それぞれに対する答えも皆さんから出していただきました。

これから事務局と一緒によく考えて、皆さんの意見をできるだけ取り入れて、次に出した時に皆さんには、我々の意見がみんなこのように反映されて、バランスよく反映されていると思われるような案を、事務局と一緒につくって参りたいと思いますので、これからも引き続き、様々な本音のご意見を徹底的にお話いただけますようお願い申し上げます。

今日は本当にありがとうございます。

以 上